

夏期における山岳遭難防止対策

例年、山での事故が発生しています。命に関わる事故を防ぐため、その原因や防止策などについて確認しておきましょう。

◆ 京都府における山岳遭難の特徴（過去5年間の数値）

- 発生件数は172件227人（うち死亡9人）、毎年約45人が遭難。
- 低い山が多く、必要な準備をせず山に入り、遭難する方が多い。
- 遭難原因の内、山道から外れたことでの道迷い・転落・滑落が約8割。



◆ 山で遭難した場合には

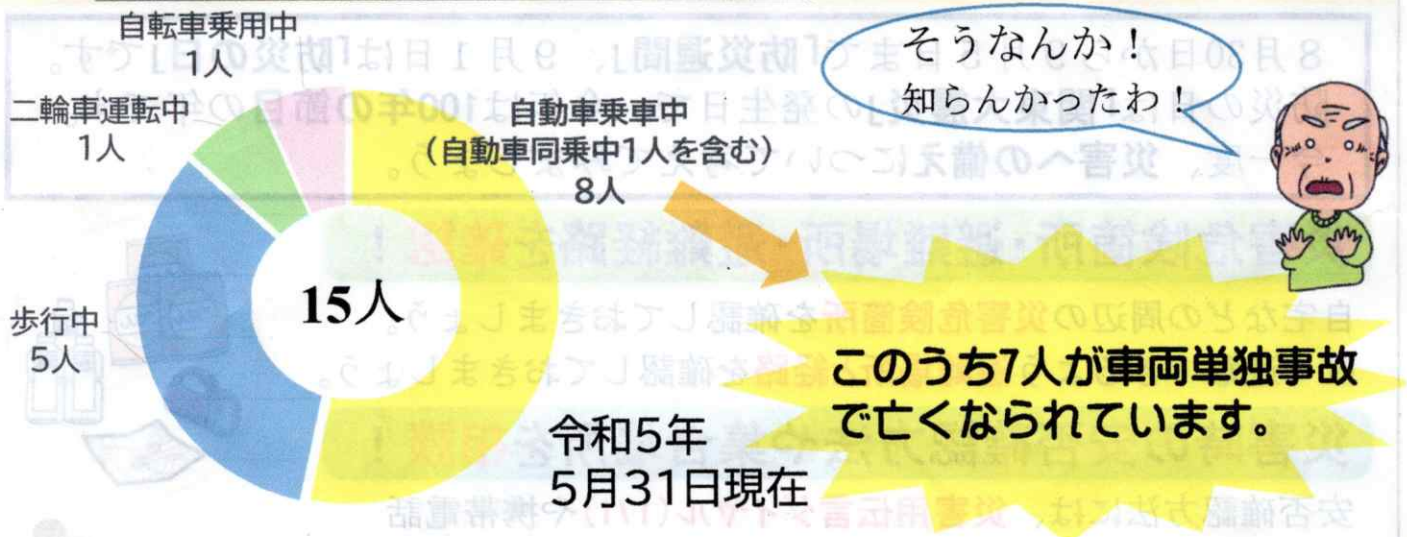
- 救助要請をした場所から動かない。
- 携帯電話の使用は必要最小限にとどめる。
- 「来た道に戻る」「上へ、上へ行く」が鉄則。下るのは大変危険！
- 夜はむやみに動かない。明るくなったら尾根に出て救助を待つ。



高齢ドライバーの交通事故防止！

令和5年中に、京都府内では26人の方が交通事故で亡くなられており(5月31日現在)、そのうち15人が高齢者で全体の約6割です。

令和5年中の高齢者交通死亡事故(状態別死者数)



高齢ドライバーの皆さんへ

・体調、天候が悪い時は運転を控える！・交差点では安全確認！・交通ルールを守る！
ちょっとそこまでのお出かけでもシートベルトを着用しましょう！

北警察署
柘野交番

電話
電話

075-493-0110

075-721-7114